

**No.196**

メロン、丸い形は地球に見える？メロンのようにおいしく、その表面の網目のように
緻密なネットワークを広げる月刊情報誌をめざします！

巻頭	【個人的なことは、政治的なこと】「政治的な手芸部」展示…… 1	コラム	アートの小箱 vol.15「慣れてはいけない」…… 4
報告	写真展「パレスチナの街角から」…… 2	カレンダー	2024 年 1 月の comm cafe ランチカレンダー…… 5
コラム	地域から在留管理制度を考える…… 3	お知らせ	協会・他団体からのお知らせ…… 6

報告 【個人的なことは、政治的なこと*】「政治的な手芸部」バナー（横断幕）展示

みのお市民人権フォーラムが開催される時期に合わせて、12 月 1 日～17 日に comm cafe で実施した。

*個人的なことは、政治的なこと :The personal is political. 第 2 波フェミニズムのスローガンとして広く知られている言葉。



↑ 2022 年バナー「人権」の文字が見える。

小さなスペースに綴る想い

モザイク画で表された「人権」「生存」の文字を、近くでじっくり見るとその 10 × 10cm の小さなスペースの中に製作者が込めた思いが伝わってくる。製作者が知らされているのは、自分が担当するスペース（多くの人は、白地、または黒地を 1 枚ずつ）と、その年のスローガン。4 つの参加資格（右記）をクリアすれば、誰でも参加できる。どのような素材や手法（編み物、刺繍など）を使うのか、どんなメッセージなのかも自由で、全ては製作者に託されている。メッセージを文字としてしたためる人もいるし、そのメッセージを他の形で表現する人もいる。各自による作品の解説が書かれた ZINE（小冊子）も展示していたので、実際の作

品と解説を行ったり来たりしながら一つひとつ丁寧に見比べている来館者の姿が印象的だった。

毎回 100 名ほどが取り組むその 10cm 四方布は（当然ながら）一つとして同じものはない。同じ時代を生きていても、その一人ひとりが見ている社会は違うということでもあり、一括りに「フェミニスト」といっても、その一人ひとりとは違うという、あたり前のことが表現されているともいえる。そして多種多様な細かい作品が集まり大きい作品を構成する。それはまさに、手に手を取ってお互いを補いながら大きな目標に向かう姿を象徴している。

「政治的な手芸部」参加資格

- ①手芸で政治的なことを語るといふ理念に共感できること、
- ②あらゆる差別に反対し、自身の特権性に向き合う姿勢を共有できること、
- ③自分をフェミニストだと考えていること、
- ④本人が手を挙げること



小さな灯として

参加資格にもあるように製作者がフェミニストであることは明白だが、「I am a feminist（わたしはフェミニストだ）」とある作品がいくつもあった。たくさん

発行・差出人：公益財団法人箕面市国際交流協会（MAFGA）

〒562-0032 大阪府箕面市小野原西 5-2-36 箕面市立多文化交流センター内

Tel：072-727-6912 Fax：072-727-6920 E-mail：info@mafga.or.jp HP：www.mafga.or.jp

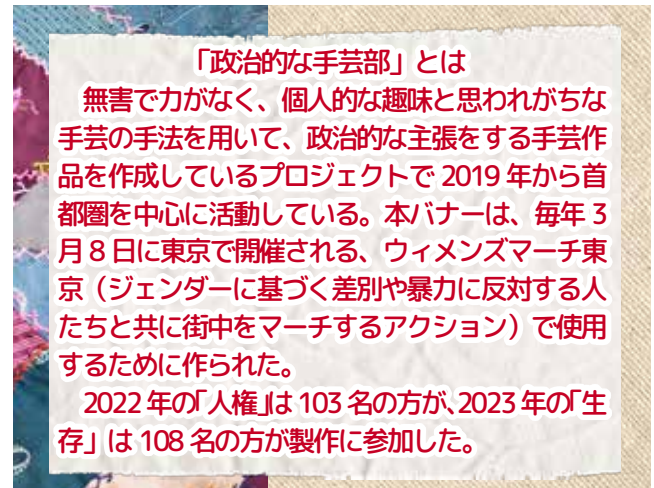
賛助会員数：322 名 法人会員数：26 団体（2023 年 12 月 13 日現在）

の言葉やテーマの中から、なぜこの言葉を選んだのか、どんな思いで針を進めたのか、日常生活の中でその言葉を口にすることが輝られるような環境なのかと、想像を巡らせる。そして、comm cafe 出会ってきた人たちのことを想う。自分のルーツを言い出せなかった子ども時代の話をしてくれたOさんの顔が浮かび、「日本で生まれ育ったのに、親が生まれた国に、行ったこともないのに〇〇人だと言われても」と、呟いた若者を思い出す。私はその人たちに寄り添う立場にありながら、時には加害者になってきた。

「国際交流」団体で、なぜフェミニズムをテーマにした展示会を開催するのかと、不思議に思った方もいるかもしれないが、マイノリティを取り巻く差別構造は酷似している。社会の中でカテゴライズされ、その小さな箱に入れられ、何か発言をしようとすると「もっと、相手が分かる言葉で話さない」と「今はその時ではない」「あなたは十分に〇〇ではない」と黙らせようという力が働く。

展示されている作品の持つメッセージにふれ、Oさんは、そしてあの若者は、自分をフェミニストとは名乗らないだろうけれど、バラバラでも共にあれことを表した、この作品を眺めながら、「私の問

題は、あなたの問題であり、あなたの問題は、私の問題である」というメッセージを受取ってほしいと思う。この展示は「多文化共生」社会に少しでも近づくための小さな小さな実践の一つだ。comm cafe という場所が、箕面市国際交流協会という団体が、前向きな対話を始める灯火でありたいと願う。その小さな灯火が多くの人々の足元を照らすような活動をこれからも地道に作っていききたい。(末原)



←「政治的な手芸部」の活動について詳しくはこちら(エトセトラブックス)



「政治的な手芸部」
Instagram アカウント→

【報告】写真展「パレスチナの街角から」

フェアトレードブランド『架け箸』代表の高橋智恵さんは、パレスチナのオリーブの木を使って現地で作られた箸や箸置きなどの小物、刺繍製品を輸入・販売している。高橋さんが2022年にヨルダン川西岸地区を訪れた時に撮った写真に加え、2002年に村上まいさんがスタディツアーに参加して撮ったガザ地区の写真が11月3日から19日までコムカフェで展示された。

ガザ地区は地中海に面している。状況が落ち着いている時に海水浴を楽しむ人々、水平線に沈む美しい夕日。西岸地区の街角のスナックでは、ひよこ豆のコロッケ屋さんや意匠を施されたモスクのドア、趣のある散髪屋など、文化や人々の暮らしを垣間見ることができた。当地の歴史的、政治的な状況をまとめたレポートや、アラビア語の絵本など貴重な資料も展示されていた。

しかし、ガザの破壊された建物の前で肩を寄せ合う子どもたちの姿は、何よりも雄弁だった。さらに絶望的な現在の状況に、胸を痛めている人は多いに違いない。観る、聴く、知るとい

う行為は、無力感に抗う一歩となり得る。カフェの一角での小さな写真展を観て、実情をより理解することができた。

その昔、パレスチナの人々は、居住地区の周りに垣根としてサボテンを植えていた。1948年のイスラエルの建国前後、彼らは村から追い払われ、サボテンも刈られてしまった。しかし、根っこが強いために、また同じ場所に生えてきたサボテンは、パレスチナと土地の結びつき、不屈の精神の象徴となっているという。それを模した展示場のボードには、自由と平和を願うメッセージカードの花が咲いていた。(山下)



コラム

地域から在留管理制度を考える

在留管理制度は日本で暮らす外国籍者にとって、生活にかかわる大きな問題だ。ときにそれは人の人生を左右するような大きな障壁になることもある。しかし、それが一体どんな制度で、どんな影響を与えるのかということは、日本国籍を持って暮らす人にはほとんど知られていない。そこで、めろん編集グループでは、「地域から在留管理制度を考える」というテーマで記事を書いていこうという話になった。

さて、それではどのような記事を書くのがよいだろうか。考えながら2つのことを思い出した。

一つは先日参加した自治体職員が集まる「在留管理制度」に関する研修会でのこと。日ごろ外国籍住民に接する機会のある行政職員に在留管理制度とはどういうものか、を講師が解説する内容だった。「留学」や「日本人の配偶者等」「永住」などそれぞれの在留資格を説明していくのだが、その語り口がどうにも気になった。

「在留資格がないと外国籍の方は日本に居住することができません」。制度の説明としてはもっともなように聞こえるが、現場の行政職員がこの原則しか知らないとしたら、大きな誤解と問題を起こしかねない。

例えば、子どもの就学や医療へのアクセス、予防接種や母子手帳の交付、DV被害者の保護など、基本的な人権の保障に関する事柄については、在留資格がなくても各行政機関がサービス提供を優先することができるという各省庁の見解が示されている。

自治体職員にはそれぞれの持ち場での社会的な役割がある。場合によっては、その役割を在留資格の問題よりも優先させるべき場面があるはずだ。しかし、「在留資格がなければ日本には居られない」という原則だけを鵜呑みにすれば、それを理由に人権を侵害するような状況を生み出しかねない。在留管理制度の説明は、時にそのような誤解を生む危険がある。研修に参加しながら、そのことに大きな不安と違和感を感じたのだ。

もう一つ。以前、協会のある日本語教室では初めて参加する学習者から名前や日本語レベルを聞き取って記入する参加者カードのなかに「来日目的」を書く欄があり、「家族滞在、留学、仕事、国際結婚…」などの選択肢がならんでいたことがあった。しかし、関係者

の間で議論になった。「これって必要かな？」。

この欄は学習者にとってはどういう意味を持つだろう。在留資格を確認されているみたいだし、管理されているような感じが



がするかもしれない。「来日目的」によって対応が変わるの？と不安になるかもしれない。答えるのが難しくて「この教室には行けないな」と思う人もいるかもしれない。

カードを作成した側ではどうだろうか。「来日目的」を聞くことで、相手の背景を理解しようという意図があっただろう。選択肢があった方が聞き取りがしやすい、ということがあったのかもしれない。しかし、実際の場面では記入する人が、この選択肢のどれにあたるかを確認しないといけない、と思って尋問のようになるかもしれない。それに選択肢は、その人自身の個々の状況ではなく、個人を「国際結婚」とか「留学」などといったカテゴリーにはめ込むことになり、それが偏見につながる危険もある。実際、協会のいろいろな話し合いのなかでも「あの人は留学生だし、〇〇だね」などという話がでることがある。カテゴライズすることは背景理解を容易にする面があるかもしれないが、ステレオタイプと偏見が地続きであることを私たちも意識しておく必要があるだろう。

どんな事情や背景の人でも、ことばの壁を感じている人に日本語を学ぶ機会を保障しよう。協会の日本語教室はそうした「人権保障」の一環である。学習者の人権には最大限の配慮が必要だ。そのような議論から「来日目的」の項目からは「家族滞在、留学、仕事、国際結婚…」などの項目はなくて、どんな日本語を学びたいかに関係するような簡単な背景があれば記入する自由記述の欄になった。また「この内容は個人情報ですので、学習に必要な時だけ使用します」ということを、学習者に確認しながら記入するということが明記された。

在留資格という制度を知ることは、地域で暮らす隣人のことを理解するために、またこの国の制度について知り必要な議論を行っていくために、大切なことだ。しかし、それが誤解や偏見につながってほしくない。そのようなことを思いながら、これから記事を書いていきたい。(河合)

コラム アートの小箱 Vol. 15

多文化共生社会ってなんなんだ、と問い続け、アートの世界にその糸口を得た野崎ターラー（協会職員・アート活動家）による、不定期コラム。読者のみなさんにも、アートの世界に触れ、共生のヒントを感じてほしい。



「慣れてはいけない」

先日、友人と「大阪朝鮮中高級学校美術部展 If」を見に、鶴橋へ出かけた。最終日ということもあり、展覧会は盛況だった。高校生たちが家族や友達を迎えて談笑しており、会場は日本語と韓国・朝鮮語で賑わっていた。

風刺の効いた作品、メッセージ性を帯びた作品、素直に見たままを表現しようと試みる作品。高校生の感性で時代を、自分を表現していて、いいエネルギーを感じた。鶴橋の商店街を歩いていると、「ソンセンニム（先生）！」と言って、友人に声をかけてくる人が何人もいた。彼女は朝鮮学校で長らく教師をしていた在日韓国・朝鮮人である。声をかけてきたのはかつての同僚や教え子だった。今はもう大人になった教え子たちと楽しそうに話している様子から、彼女が生徒たちから慕われていたことが伝わってきた。

友人が旧交を温める風景を眺めながらくつろいだ気分だったその時に、轟音でかなり立てる音が聞こえてきた。野蛮で動物的な声がスピーカーから流れてくる。それは、政治的主張を大音量で流す街宣車だった。しかし、目の前の風景は、その怒号とはあまりに不釣り合いだった。K-POP好きの若い女性たちが自撮りでポーズをとっていた。コリアタウンの食べ歩きに精を出す観光客が道にあふれていた。

時空が歪んだような感覚に、私は何とも言えない気持ちになった。この場で、顔をあからさまに歪める人はいない。辛そうな表情を見せる人はいない。しかし本当にそうだろうか。この地に住む人たち、街宣車があからさまな敵意を向ける、その対象となる人たちは、どんな気持ちでこの声を、音を、言葉を聞いているだろう。

街宣車が来る前まで、この日私が見てきたのは、大切な人の営みや長年築かれてきたかけがえない信頼関係だった。それは敬意を払われこそすれ、おとしめられる筋合いは、どのような理屈でもありえないもののはずだ。しかしこのようなことが、白昼堂々行われている。このことを目の当たりにして、私は持って行き場のない強い怒りと悲しみに襲われた。一緒にいた友人は、何事もないようなそぶりだったが、平気なはずがない。逆に、彼女がこの出来事を当たり前のよう受け止めていることが、悲しく、申し訳なく感じた。

私は強くこう感じた。この歪んだ風景に慣れてはいけない。声高に辛さを訴える人がおらず、目の前で起こる不条理が放置される今の社会の風潮に流されてはいけない。自分に被害が及ばなければ、問題がないのではない。その不条理は間違いなくいつか自分自身にも及んでくる。どんな小さな小さなことでもいい、その勢力に刃向かう行動を起こして行きたいと。（野崎）

胃腸科 内科 外科 肛門科 リハビリテーション科



おざわクリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土
am9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
pm1:00~3:00(胃カメラ)	□	□	□	□	□	□
pm5:00~7:30	△	△	△	△	△	△

※診療開始 30 分前から受付します。

■胃カメラは予約制です(口 印)

■休診日: 月・火・金・土曜午後、木曜、日祝日

■<http://ozawa-clinic.world.coocan.jp/>

【住所】562-0023

箕面市栗生間谷西3丁目7-9シャトー野間1F

阪急バス停留所「宮の前」スーパーマルヤス向い

◎無料駐車場 有

072-730-0721



エスパーロ
能勢
espero osaka

フェアトレード雑貨と古民家カフェ

豊能郡能勢町地黄 476

営業時間: 金~月 11:00 ~ 17:00

<http://espero-osaka.com/>

箕面市国際交流協会の

多言語による生活相談窓口

電話 072-727-6912

(日本語・英語)

メール soudan@mafga.or.jp

子育てや教育、仕事、医療、福祉、在留資格など、生活での悩みや困りごとに対応します。秘密厳守。相談は無料です。

日時: 火曜日から日曜日 9:00~17:00

受付方法: 来館、メール、電話

対応言語: 日本語、韓国・朝鮮語、

中国語、英語、ポルトガル語

場所: 箕面市立多文化交流センター

1月
January

comm cafe ランチカレンダー

コムカフェ

火・木～土

9:30 - 11:30 朝カフェ
11:30 - 14:00 ランチ ¥990 * 売り切れ次第終了
14:00 - 17:00 午後カフェ

日・祝日 * ランチはありません

10:00 - 13:00 世界の朝ごはん ¥770 (ドリンク付)



コムカフェでのお支払いには、現金・まーぶ・comm cafe クーポン券のほか、PayPay がご利用頂けるようになりました。(2023/11/1 ~)

おしらせ

MOOK 本完成!

コムカフェ MOOK 本「世界をつまみ食い! 1つのカフェ×6つのしょく〜食・触・職・色・織・ショック! ?」が刊行されました。この MOOK には、10 年以上に及ぶこのカフェのあゆみがギュッと一冊にまとめられています。

カフェに置いてありますので、手に取ってぜひ読んでみてください。お買い求めを希望される方は、スタッフまで直接お問い合わせください。(一冊 3,000 円)

ス… スナック & スウィーツの日 イ… カフェで開催するイベント

げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どうようび	にちようび
1	2	3	4	5	6	7
12/27 (水) ~ 1/5 (金) comm cafe はお休みです						チャレンジ カフェ! 世界の朝ごはん アムリタさん 《インド》 10:00 ~ 13:00
8	9	10	11	12	13	14
ス MAFGA スナック	ニダルさん 《シリア》	店休日	チノさん 《タイ》	ルーパさん 《インド》	フランクリンさん 《キューバ》	世界の朝ごはん ボルマーさん 《モンゴル》 10:00 ~ 13:00
15	16	17	18	19	20	21
休館日	コフさん 《タイ》	店休日	チャレンジ カフェ! マナルさん 《シリア》	ノックさん 《タイ》	チノさん 《タイ》	チャレンジ カフェ! 世界の朝ごはん ジュディさん 《シリア》 10:00 ~ 13:00
22	23	24	25	26	27	28
休館日	ボルマーさん 《モンゴル》	店休日	フランクリンさん 《キューバ》	洪さん 《コリア》	マナルさん 《シリア》	ス MAFGA スナック
29	30	31				
休館日	ファルザナさん 《バングラディシュ》	店休日				

★コロナウイルス感染拡大防止のため変更になる場合があります。最新情報は、Facebook を確認ください。

- ベジタリアン、ハラル、アレルギー対応については、カフェのスタッフまでお気軽にお尋ねください。
- メニューやシェフは変わることもあります。また急きょ、協会主催事業により貸切になることもあります。
- 詳細は、Facebook をご覧ください。 <https://www.facebook.com/mafgeschallengecafe>



国際交流協会 (MAFGA) からのお知らせ

下記についての問合せ・申込みは (公財) 箕面市国際交流協会まで スマートフォン・パソコンからの参加申込みも可能です。
URL もしくは二次元コードからアクセスして、各イベントのページから申込みください!

【申込み先】

☎: 072-727-6912 FAX: 072-727-6920 <https://mafga.or.jp>



イベント情報

特に記載がないものは、箕面市立多文化交流センター で開催します。

多文化体験

1/13 (土)
14:00-16:00

多文化体験・交流・学びクラブ まふがっこ

地域に暮らす外国人市民との交流を通して、多文化を体験する連続講座。イラン、モンゴル、韓国、タイの文化やあそびが体験できます!
◎ファテム・モタバリプール ◎ウルジーバダラフ・オトゴスレン
◎洪 恩淑 ◎中川 ナバラウィー

対 象: 小学生~中学生
場 所: 講座室
定 員: 20 名 (申込み順)
参加費: 無料 (要申込み)
申込み: 072-727-6912

キューズリビング

1/24 (水)
① 10:30-12:00
② 13:30-15:00

食でつながる、このひと、この世界

地域で暮らす外国人市民を講師に迎え、食をテーマに試食や試飲を交えながら、文化や経験を紹介します。今回のテーマは「わたしの目に映るスリランカ」です。
◎ 講師: ネルソン百合子
◎ コーディネーター: 崔聖子 (コムカフェ・アドバイザー)

定 員: 各 5 名 (要申込)
場 所: キューズリビング (みのおキューズモール)
申込み: 上記 QR コードからイベントページを
探してフォームを送信してください
参加費: 550 円



セミナー

1/25 (木)
14:00-15:00

就職支援セミナー@大阪大学箕面キャンパス

「ひとこま」を開催しているスペースにて開催。就職に関することなら、なんでも相談可。今回は「日本の職場マナー、日本の生活の豆知識」。

場 所: 大阪大学箕面キャンパス 3F ビロディ
申込み: 上記 QR コードからイベントページを
探してフォームを送信してください
参加費: 無料 (要申込み)

コンサート

2/17 (土)
18:00-20:00

2挺のバロック・チェロによるデュオコンサート Baroque in 箕面

世界的に活躍するバロック・チェロ奏者 2 名を迎え、2 挺がありなすハーモニーをお楽しみください。comm cafe によるディナーつき。
◎ 中嶋奇恵 (バロック・チェロ)
◎ 中村仁 (バロック・チェロ)

場 所: comm cafe
定 員: 50 名 (申込み順)
参加費: 3,500 円 (一般)
2,500 円 (会員及び 22 歳以下)
※いずれも食事つき

年末年始の事業について

多文化交流センター・小野原図書館...12/29(金)~1/3(水) 休館



comm cafe

...12/27(水)~1/3(水) 休館

事業		年末最終日	年始開始日	事業		年末最終日	年始開始日
日本語教室	ささゆり（初級読み書き）	12/12（火）	1/ 9（火）	事業と多言語相談 学生・若者が地域とつながる居場所「ひとこま」	さぼると	12/23（土）	1/13（土）
	せいなんにほんご	12/20（水）	1/10（水）		こどももつと	12/23（土）	1/13（土）
	あかね（初級会話）	12/14（木）	1/11（木）		【火曜】英語・中国語	12/19（火）	1/ 9（火）
	ひまわり	12/15（金）	1/ 5（金）		【水曜】英語・ネパール語・ポルトガル語	12/20（水）	1/10（水）
	萱野にほんご	12/22（金）	1/12（金）		【土曜】英語・ベトナム語	12/23（土）	1/13（土）
	T.E.S. にほんご	12/16（土）	1/13（土）				
	ひがしにほんご	12/17（日）	1/14（日）				
国際理解のための語学講座 … 12/23（土）～1/4（木）までお休み							

唐木幸子バレエスタジオ ~箕面の地で 40 年の歴史~

(公社) 日本バレエ協会会員・AODT 会員

*バレエコース: 「ロシア国立ペルミバレエ学校日本校」のバレエ教授法取得証明書(Dipolma)や、日本徒手療法師会より「徒手療法師」の資格認定を与えられた姿勢調整師でもある指導者が、丁寧に分かりやすく指導致します。「バレエは芸術」として長く続けられるように、また中高生には学業と両立できるよう配慮しています。3 才~ 80 才位の年齢層まで、目的に合わせて気軽に楽しく始められます。

*健康コース: 徒手療法師の資格を持ったバレエ指導者(姿勢科学士)が健康維持を目的とした姿勢調整を致します。



〒562-0041 箕面市桜 4-1-24 阪急牧落駅西側右斜め前 (駅より 30M)
072-721-6300/721-2576 <http://www.karaki-sachiko-ballet.com/>



他団体からのお知らせ

問合せ・申込みはそれぞれの団体へお願いします。

展覧会

1/10 (水) ~
3/7 (木)

リアル写真展 「遊牧民の世界〜モンゴル、カザフ、トゥバの過去と今〜」

NPO 法人北方アジア文化交流センターしゃがぁ理事長・西村幹也が現地で撮りためた写真を展示します。時期ごとに、4 部構成でお送りします。
1/10 ~ 「遊牧世界の子どもたち」、1/26 ~ 「遊牧世界の女性たち」、
2/8 ~ 「トナカイと暮らす人々」、2/29 ~ 「遊牧世界 2023 年」

場 所: comm cafe

参加費: 無料 (申込み不要)

主 催: NPO 法人北方アジア文化交流センターしゃがぁ

問合せ: npo@shagaa.com



上映会

1/14 (日)
14:00-16:00

国流シネマカフェ 「マイスモールランド」

埼玉に住むクルド人の高校生、サーリヤは、あるきっかけで在留資格を失い、当たり前前の生活が奪われてしまう——是枝裕和監督が率いる映像制作者集団「分福」にも在籍する川和田恵真さん監督による、在日クルド人を描いた本作 (2022 年制作) を上映します。

場 所: すてっぷホール (豊中市玉井町 1-1-1 エトレ豊中 5F)

参加費: 無料

定 員: 50 名 (要申込・先着順)

主 催: とよなか国際交流協会

申込み・問合せ: 06-6843-4343

大阪大学

毎月第三木曜日

1/18 (木)
19:00-20:00

マンズリー多文化サロン スウェーデン編

「スウェーデンに見る子どもと若者の余暇・文化活動」

大阪大学の教員が、諸外国・諸地域の文化や生活などを紹介。

*オンライン併用のハイブリッド開催です。

© 高橋美恵子 (大阪大学 人文学研究科 教授)

参加費: 無料

場 所: 大阪大学箕面キャンパス 1F 大講義室

申込み: 1/5 ~ 1/15 に HP、TEL で

<https://www.sfs.osaka-u.ac.jp/>

主 催: 大阪大学外国語学部

申込み・問合せ: 072-730-5013

写真展

12/26 (火)
~ 1/21 (日)

写真展 「私たちが見たパレスチナ〜占領下に生きる人びとと暮らし〜」

過去にスタディツアーや留学などで、パレスチナを訪れたことのある「さぼてん企画」による写真展。パレスチナ・ガザ地区とヨルダン川西岸地区の日常風景を捉えた写真を展示。ソーシャルブランド「架け箸」のパレスチナの木製品・刺繍関連書籍の販売も有。
さぼてん企画インスタ⇒

場 所: MoMoBooks

(大阪市西区本町 4-9-13)

参加費: 無料 (申込み不要)

主 催: さぼてん企画

月曜定休ほか不定休

12/29 ~ 2024/1/4 まで年末年始休業

大阪大学

1/21 (日)
13:00-15:00

文字学習講座〜いろいろな外国語の文字で「こんにちは」って書いてみませんか?〜

ペルシア語、韓国語、ロシア語の文字を使って、「こんにちは」や自分の名前を書いてみませんか?初めて学習する人向けの内容です。簡単なあいさつや自分の名前が書けるようになることをめざします。

場 所: オンライン

参加費: 無料

定 員: 各言語 5 名 (先着順)

申込み: QR コードから

主 催: 大阪大学サイバーメディアセンター



講演会

1/21 (日)
14:00-16:00

みのお中国文化に親しむ会 第 67 回講演会 「ホテルの宝庫 台湾」

「台湾のホテル」にスポットをあて、その生息地や分布などを紹介します。

* 8 月に予定していた講演会が左記の日程に延期となりました。

© 石田達郎 (箕面ホテルを守る会・会長)

場 所: 箕面文化・交流センター

参加費: 1,000 円 (学生以下 500 円)

主 催: みのお中国文化に親しむ会

後 援: (公財) 箕面市国際交流協会

申込み・問合せ: 072-722-6234 (市村)

募集

募集中
~ 1/31 (水)

イベントサポート倶楽部 (ボランティア) 募集

設営、チケットもぎり、案内など、イベントのサポートをするボランティアを募集します。あなたの才能を生かしてみませんか?活動場所は、メイプルホール、西南・東生涯学習センター、文化芸能劇場などです。研修期間は 2024 年 2 ~ 5 月、活動期間は 2024 年 6 月 ~ 2025 年 5 月です。

対 象: 18 歳以上 (高校生不可)

定 員: 20 名 (先着順)

申込み: 申込書を持参、メール、FAX など

問合せ: (公財) メイプル文化財団

072-721-2123

セクマイ大会

2/2 (金) ~ 4 (日)
2/9 (金) ~ 11 (日)

セクシュアルマイノリティと医療・福祉・教育を考える全国大会 2024 「おかえり多様性、人権を回復するためのつながりづくり」

医療・福祉・教育、それぞれの社会的資源がすべての人に使いやすい社会にするには?取り組みの現状や困難について、17 の分科会&交流会&パネルセッションを通して考える。(手話通訳・文字通訳あり)

★ボランティア募集中! (オンライン説明会 1/18 (木) 19:30 ~ 20:30)

場 所: オンライン/大阪産業創造館 (大阪市中央区本町 1-4-5)

参加費: フリーパス 5,000 円、1 回 1,000 円

主 催: 「セクシュアルマイノリティと医療・福祉・教育を考える全国大会 2024」実行委員会

問合せ: queertalkai2020@gmail.com

coupe de Minami

スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所

町屋で楽しく洋服をつくってみませんか?

ボディに布を直接
のせて服をつくって
みましょう!
(立体裁断)

南正枝 プロフィール (略歴)

昭和 42 ~ 45 年 フランス・パリの洋裁学校にて立体裁断、
デザイン等を修得

昭和 45 ~ 47 年 カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー

昭和 47 年以降 大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします! ◆パターンや立体裁断も教えます。◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください!

●問合せ: ☎ 562-0012 箕面市白島 2-2-30 電話 / FAX 072 (721) 4151

E-mail info@coupe-de-minami.com URL <http://www.coupe-de-minami.com>

法人会員 募集中！

箕面市国際交流協会では、法人会員（年会費 1 口 10,000 円）を募集しています。「めろん」広告掲載料 20% 割引やチラシの封入（年 3 回まで）ができるほか、語学講座受講料の 30% 割引（3 名まで）もあります。また、年会費が税額控除の適用対象となる税制優遇措置もあります。法人会員となって、ぜひ協会の活動をサポートしてください！くわしくは、お問い合わせください。

めろんへのご意見・ご感想をお寄せください。

いつも「めろん」をお読みいただきありがとうございます。このテーマをもっと掘り下げてほしい！」「前回の掲載されていた記事面白かったよ」「めろんで取材にきませんか？」などなど、読者のみなさまからのご意見・ご感想を大募集！編集ボランティアも募集中です。info@mafga.or.jp までお寄せください。

編 集 後 記

2023 年は本当にいろいろな事が起きた。地球上は紛争地域が増え、人の命が失われている。また 2 月にトルコで地震が起き、8 月にはハワイ・マウイ島の山火事で、大勢の人が亡くなった。天災は避けられないと言いつつ、私たちにできる事はなかったのだろうか、考えさせられた。ガールスカウトの子どもたちと、トルコ支援のうちの絵を描きマウイの募金をした。子どもたちに「困っている人がいたら助けよう！」という気持ちが育ってくれたらと願いながら。

今年は今までにない暑さだった。野菜が育たずに農家の人たちはどれほど困ったのだろうか。以前地球温暖化が進むと、米もリンゴも北海道でしかできなくなると聞いたことがあるが、その北海道でさえ高温が続いたニュースを聞くと不安になる。

30 年も前、山で育った知人から聞いたのは、山の木が売れなくなり若者が都会に出て行ってしまったこと。山が荒れ放題になってしまったため、彼女は「今に山崩れがあちこちで起きるかもしれない」と親から聞かされて心配していたが、現実になっている。今年も各地で土砂崩れが頻繁に起きた。世界各地で大規模な森林火災や洪水、異常な干ばつや寒波の襲来など気候変動を原因とする災害が起きているが、これらは人間が起こしたと言えないだろうか。今の CO2 の排出のペースでは気候変動はあと 7 年半で手遅れになるそうだ。

経済は確かに大事かもしれないが、地球を守ることが、人がこの地球で生きて行くための一番大事な事ではないかと思う。2024 年が、地球に優しい年、人に優しい年になるように、皆で考えられたらと思う。(井嶋)

アクセスマップ



バス オレンジゆずるバス

- (平日・土曜) 黄ルート「多文化交流センター前」
または赤ルート「小野原南」から西へ約 550m
- (日曜・祝日) 緑ルート「小野原西五丁目」から西へ約 200m
※「多文化交流センター前」には停まりません。

阪急バス

出 発	バス番号	最寄バス停
千里中央 北千里方面から	30, 55, 56 58, 59, 66	① 小野原
		② 小野原西
	175, 176	③ 小野原南
	70	④ 小野原西 5 丁目
	70, 78	⑤ 関西学院千里国際キャンパス
阪急石橋から	92	① 小野原
JR 茨木方面から		② 小野原西

「めろん」編集スタッフ

【ボランティア】井嶋眞佐子、荻野克彦、黒田アリサ、崔聖子、中島美瑛、西岡夏希、山下三千世、鷺尾則昭
【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、坂口ピーター、ツェレンダグ ムンフバヤスガン、中村由紀、鳥羽山良平

問合せ：（公財）箕面市国際交流協会 〒562-0032 箕面市小野原西 5-2-36 多文化交流センター

Tel：072-727-6912 Fax：072-727-6920 E-mail：info@mafga.or.jp

HP：www.mafga.or.jp FB：facebook.com/Mafga みのお多言語ポータル：http://portal.mafga.or.jp/